

## スタディツアー 開催結果概要

### 1. 概要

仙台市で開催される「第2回世界防災フォーラム」の登録参加者（主に外国人参加者）向けに、東日本大震災の経験と教訓を世界の防災専門家と共有するとともに、復興への取り組みや「防災観光」の魅力を広く発信することを目的として、仙台市及びその近郊の沿岸部を視察するスタディツアーを実施した。

### 2. 実施内容

実施日	テーマ	主な視察先
10日	東日本大震災から 27時間の物語	震災遺構荒浜小学校、荒浜地区住宅基礎～せんだい3.11メモリアル交流館
11日	津波の歴史と産業復興	多賀城市内視察（東日本大震災モニュメント、末の松山）～イオン多賀城店
	復興商店街の取り組み	かわまちてらす閑上～名取市閑上地区～せんだい3.11メモリアル交流館
	津波の多重防御対策	南蒲生浄化センター～キリンビール仙台工場～震災遺構荒浜小学校
12日	津波へのBCP	震災遺構荒浜小学校～仙台国際空港

### 3. 主催 仙台市（文化観光局東北連携推進室）

### 4. 参加者数 16の国と地域から計51名

### 5. 参加者からの声（アンケートより）

- ・震災遺構荒浜小学校を視察して、学校と災害という大きなテーマを持った施設だと感じた。海からの距離感、被害の状況を間近に見られて良かった。
- ・せんだい3.11メモリアル交流館では、多くの写真から現実味のある津波が想像できた。たくさんのストーリーや津波の記憶が、訪れた人に伝わっているのを感じた。
- ・日本の防災に対する思いや対策は本当に素晴らしかった。
- ・仙台の魅力も同時に感じる事ができ、とてもよかった。食べ物も非常に美味しく、また来たいと思った。



震災遺構仙台市立荒浜小学校



せんだい3.11メモリアル交流館



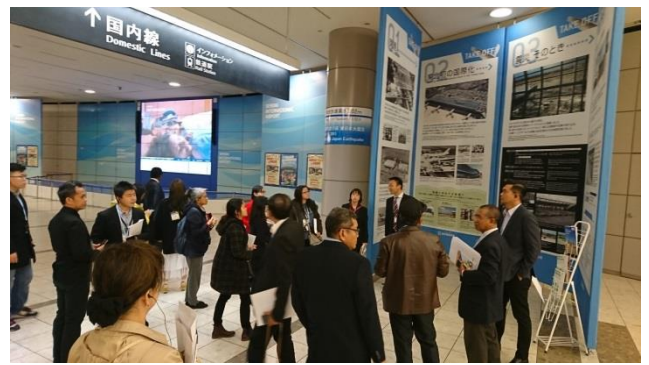
多賀城市東日本大震災モニュメント



名取市震災メモリアル公園慰霊碑



南蒲生浄化センター



仙台国際空港